

お知らせ

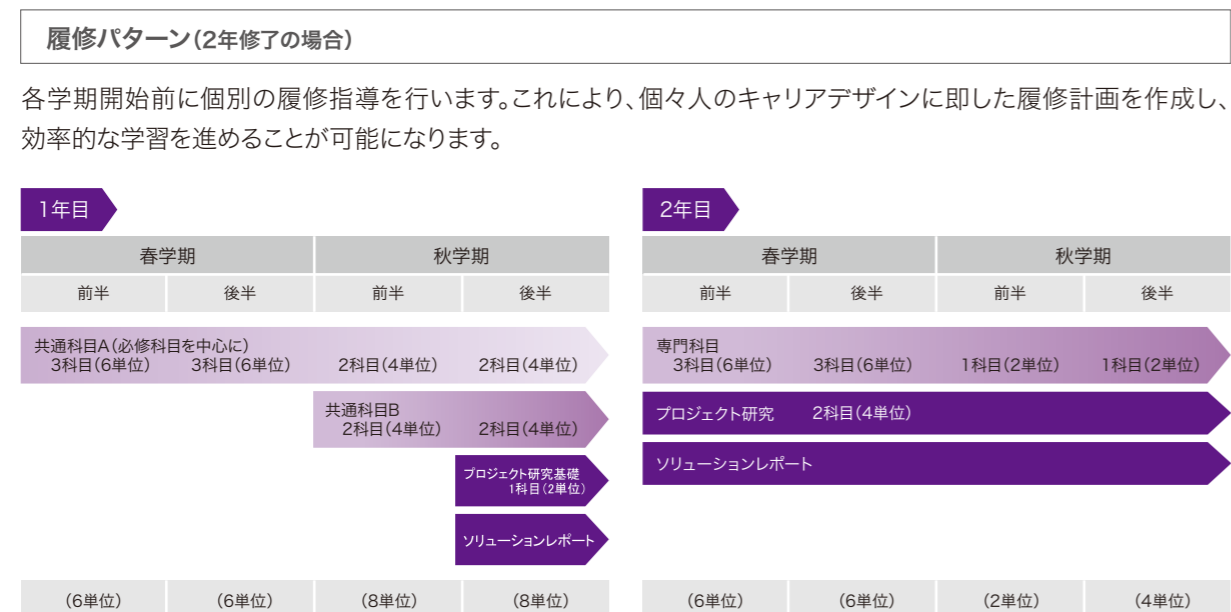


2023年6月21日、『Doshisha Business School (同志社大学大学院ビジネス研究科 ビジネス専攻-MBA)』の内容が変更されました。修了に必要な科目要件の変更です。2024年度より本紙に示す8科目すべてが必修科目となる予定ですので、ご注意ください。今後も変更があった場合の最新情報は、DBSのwebサイト (<https://bs.doshisha.ac.jp/>) 等にて明示してまいります。

同志社大学大学院ビジネス研究科ビジネス専攻とは—4

履修パターン

※2024年度からカリキュラム改編予定(改編を想定した履修パターン)



修業年限

標準修業年限は2年です。ただし、個人の状況に合わせて3年修了を選ぶことができます。

学期・授業

入学は毎年4月で、春・秋の2学期制です。各学期は前半と後半に分かれています。授業は、1回に2時限連続(90分×2)で開講します。1つの科目は、8週間(試験期間を含む)で完結し、2単位が修得できます。

履修計画

- 2年履修の場合、1年目の春学期は「共通科目A」(各専門分野の基礎科目)の履修が中心となります。なかでも必修科目は早めの履修が求められます。1年目の秋学期からは「共通科目B」(各専門分野の発展科目)の履修が本格化します。秋学期後半には「プロジェクト研究基礎」(必修)で本格的な「プロジェクト研究」の準備を進めます。そして、2年目に設定したテーマについての「プロジェクト研究」(必修)に加えて、プロジェクト研究遂行に必要な「専門科目」を履修しながら、「ソリューションレポート」を作成します。

- 必修科目は10～11頁に示す8科目となる予定です。必修科目の履修により、その他の科目を履修するうえで必要となる基本的知識を習得することができます。
- 社会経験がない場合は1年目にフィールドスタディを履修し、一定期間のインターンシップなどを体験することが効果的です。
- ソリューションレポートはプロジェクト研究を通じて作成していくこととなりますが、1年目から自らの問題を明確にし、テーマの設定に取り掛かることが必要です。

修了要件

- 下記の要件を満たしたものを課程の修了とします。
- ①本課程に原則として2年以上在学すること。
 - ②所定の46単位以上を修得すること。
 - ③ソリューションレポートの審査に合格すること。

取得学位

ビジネス修士(専門職)
Master of Business Administration (MBA)

カリキュラム

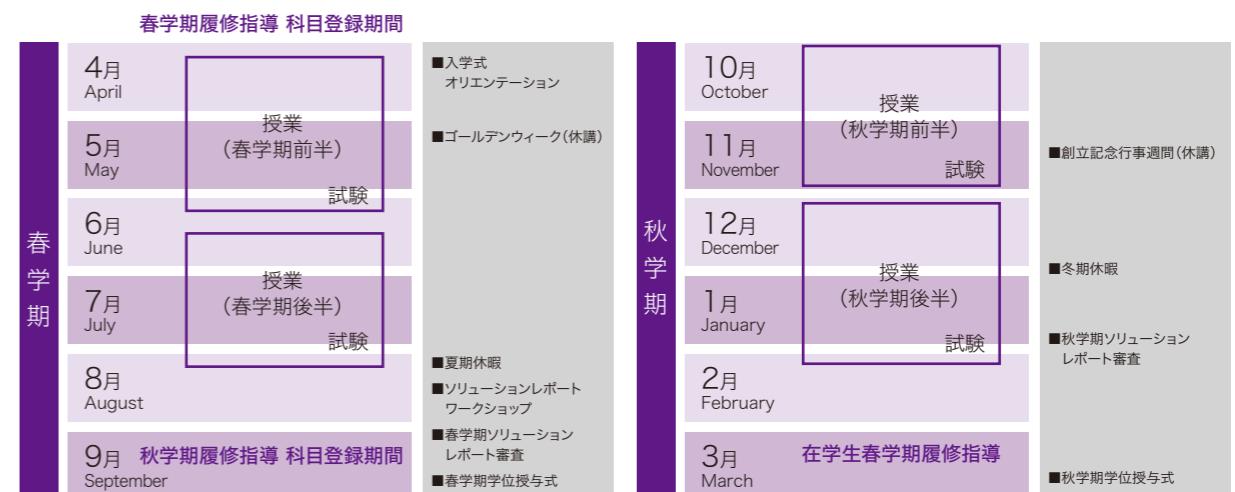
本専攻では、必修科目、共通科目および専門科目群の学習を通じて、現代のビジネス現場で求められる①責任ある経営(Responsible)、②革新(Innovative)、③リーダーシップ(Leadership)(DBSではそれぞれの頭文字をとってRILと呼んでいます)を養っていきます。カリキュラムを構成する各科目には、その科目に最適な固有の学習目的が設定されています。本専攻のカリキュラムに沿って学ぶことで、受講者はこのRILを効率的に習得することができます。

DBSの学習目標と学習目的

学習目標	学習目的
責任ある経営(Responsible)	R1:倫理的、包括的、持続可能な組織を率いるために必要な知識とスキルを有する R2:社会に貢献する価値観や目的の重要性を理解する
革新(Innovative)	I1:ビジネスを行う上で必要なビジネスコンセプト・理論・ツールを理解する I2:ビジネスに革新的なアプローチを見出す
リーダーシップ(Leadership)	L1:困難なビジネス課題の根本的原因を明らかにする L2:適切な分析ツール(定性または定量)を使用して、効果的なビジネス上の意思決定のためにデータを収集・分析する L3:利害関係者の対話を促進する L4:問題に対する適切な解決策として、効果的な提案を行う L5:適切なメディアチャンネルでの効果的な書面および口頭でのコミュニケーションを行う
我々のゴールは、責任ある経営をおこない、革新していき、リーダーシップを発揮する人物を育成すること	

ビジネス研究科の1年

各学期ごとに科目登録・成績発表を行います



■教育課程連携協議会

同志社大学大学院ビジネス研究科では、その教育のあり方につき社会の要請に応えるべく、常に改善を続けるため、以下の外部有識者をメンバーとする教育課程連携協議会を設け、貴重な助言を得て、カリキュラムの見直しや点検を行っています。

●2022年度教育課程連携協議会委員(敬称略)

株式会社SCREENホールディングス 代表取締役 取締役会長 垣内 永次
株式会社松栄堂 代表取締役社長 畑 正高
株式会社エクセディ 取締役会長 久川 秀仁
公益財団法人京都産業21 理事長 上田 輝久
同志社大学名誉教授 大久保 隆
アジア経営大学院名誉教授 EDILBERTO C. DE JESUS

カリキュラム (設置予定科目) ※2024年度からカリキュラム改編予定(以下はカリキュラム改編後を想定した内容)

ソリューションレポート プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究基礎			ソリューションレポート プロジェクト研究			ソリューションレポート プロジェクト研究			ソリューションレポート プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究基礎		
中小企業・地域経営	イノベーション	マーケティング	専門科目			会計・ファイナンス	ビジネス環境分析	ゼネラルマネジメント			
産業集積と立地戦略 中小企業経営演習 ベンチャーファイナンス 戦略的企業再生 中小企業経営コンサルティング 観光マーケティング 京都の知恵ビジネス 地域ブランド戦略 中小企業・地域経営特殊研究	オープンイノベーション DXビジネス戦略※1 サプライチェーンマネジメント 技術マーケティング 知財マネジメント 組織イノベーション MOT特殊講義 イノベーション特殊研究	サービスマーケティング マーケティング戦略 広告・コミュニケーション 商品・ブランド開発 マーケティング特殊研究	各専門分野について、より高度で最新の知識を獲得するための応用科目です。			リスクマネジメント 会計・監査 投資戦略 税務戦略 M&A戦略 コストマネジメント コーポレートファイナンス 会計・ファイナンス特殊研究	データ・サイエンス 現代地政学と 経済安全保障 マクロ経済分析 国際関係と経営戦略 Green Management in Action ビジネス環境分析 特殊研究	ビジネスコミュニケーション ナレッジマネジメント リーガルマインド ウェルビーイング※2 組織間関係マネジメント ゼネラルマネジメント特殊研究			
事業創造マネジメント 京都の伝統産業と 文化ビジネス	プロジェクトマネジメント ビジネスモデル イノベーション	マーケティングリサーチ 消費者問題 消費者行動	各専門分野の共通科目Aで獲得した基礎知識をさらに拡充する発展科目です。共通科目Aで獲得した知識を前提としている点にご留意ください。			ビジネス会計学 ビジネスファイナンス コーポレートガバナンス 管理会計	ミクロ経済分析 企業の社会的・国際的役割	リーダーシップ 企業価値経営※3 ダイバーシティ・マネジメント			
中小企業経営 ベンチャー企業経営	★オペレーションズ マネジメント イノベーションマネジメント	★マーケティング	DBSでは、6つの専門分野(中小企業・地域経営、イノベーション、マーケティング、会計・ファイナンス、ビジネス環境分析、ゼネラルマネジメント)を設定しています。共通科目Aは、各専門分野における基礎科目です。			★基礎会計学・ファイナンス	★ビジネス経済学 ★ビジネス統計学	★組織行動と人的資源管理 ★経営戦略 ★企業経営と良心 組織マネジメント			

★必修科目(2024年度から設置予定) ※1:2022年度以前入学生には「ITビジネス戦略」として開講 ※2:2022年度以前入学生には「グローバル経営人材開発」として開講
※3:2022年度以前入学生は「グローバル企業経営」として開講

履修科目の選択について

入学時に、履修相談を担当する履修指導教員が決められます。履修科目の選択や履修計画については、履修指導教員の指導を必ず受けてください。なお、「プロジェクト研究基礎」の指導教員(ゼミ担当教員)決定後は、指導教員が履修指導教員となります。

グローバル経営研究専攻科目の履修について

全ての授業を英語で実施するグローバル経営研究専攻(P.25参照)の設置科目も、一定の条件の下で履修が可能です。ビジネス専攻の学生に配慮し、平日夜間に開講される科目もあります。